

津乃峰コース 徳島 No.8

JOA 公認 No.608 10km 10ポスト

徳島県東部、阿南市のJR牟岐線「阿波橋」駅が津乃峰コースのスタート地点です。駅降りて左手に平成4年の郵政省の補助金で更新された案内板が立っています。マップは案内板の目の前の食堂にて1部30円で販売しています。昭和56年調査のマップですが、それほど現状との違和感はありません。案内板のマスターマップからコースを写し取り、出発します。

比較的平坦なコースが多い徳島県のパーマネントコースの中では、珍しく大きなアップダウンが2度もあり、健脚向きに設定されています。登りに備えて第1ポストまでは軽い足慣らし。牟岐線の踏み切りを渡り、舗装道路を車に注意しながら西に向かいます。「地藏寺」に向かって路地に入り、程なくお寺に到着します。境内に入ってもポストは見当たりません。境内の片隅から西へ続く小径を見出せるかが発見の鍵になります。小径の入口は草に隠れて一瞬では分かり難く、その奥にポストが立っているようには思えない状態でした。

そのまま小径を下ると造成現場に出ます。地図上の最短ルートはその中に消え入ってしまっていますので、一旦道路に出るのが良いでしょう。しばらく歩くと鳥居が右手に現れます。ここから真北に通じるルートが地図には記されていますが、既に消滅しています。第2ポストへは石段を登り、鉄塔を目指します。鉄塔から一旦下ると、本来のルートに突き当たり、山道を更に極めて行きます。次の鉄塔の手前、藪の中に突然第2ポストが現れます。うっかりしていると行き過ぎてしまいそうなので要注意。

ここからは勾配も緩やかになり、尾根筋へは案内外に到達します。鉄塔の新設工事が行われておりますが、コースには支障ありません。開放的な疎林の中を進むと、下り坂に差し掛かる地点に第3ポストがあります。

その次の鉄塔まで、足取りが軽くなるほど快適な遊歩道が続いています。鉄塔からは一気の下り。一度田んぼに出てから第4ポストへは再び山に分け入ります。民家の横から山裾を歩き、ポストへ通じる小道を見出すのですが、入口は草で閉ざされていて、かなり分かり難くなっています。池に出てしまったら行き過ぎです。これが分かれば尾根に立つポストは直ぐに見付かるでしょう。

ここから第6ポストまでは平坦な一帯で中休みと言ったところ。山裾を北に向かいます。思いの外、狭いルートを進んで山間を通りぬけると小さなお宮があり、一角に第5ポストがあります。

第6ポストへはほとんど出発りのように引き返します。石門公園のひょうたん池まで戻り、更に山裾を東に向かいます。道しるべに従っていくと、小道の分岐点でポストに出会います。

第7ポストへのルートがこのコースでの最難関。地形的には鞍部越えの分かりやすいルートですが、道そのものがハッキリしない箇所があります。特にピーク手前は沢との区別が付き難く、これまでの遊歩道とは様

相がかなり違ってきます。極めつけは立ち入り禁止区域として記されている果樹園と小川に沿う区間。猛烈な藪に閉ざされています。足元に注意しながら草をかき分けていくと、次第に明確な道になってきます。突き当たりの道を右手に進むと「津峰神社」の鳥居があり、その下にポストがあります。

ここから2度目の津乃峰登山。先ほどの藪漕ぎとは打って変わって広々とした登山道です。途中、岩窟探索をしながら登り詰めると、「陣ヶ丸公園」に第8ポストがあります。

尾根伝いに歩くと「津峰スカイライン」に出ます。私はここで野ウサギに出会いました。いよいよハイライトの「津峰神社」へ。一般の参拝者にはリフトも用意されていますが、この日は濃霧のため運休。広い石段から参道に入ります。境内に到着すると直ぐに第9ポストも発見。雨と霧のため、ひっそりとした雰囲気の中、参拝。最終ポストに向けて一気になって行きます。

かなり急な参道ですので、転ばないように。参道入口を過ぎると間もなくポストへの分岐に到着。「八犬神社」で最終ポストを発見します。

明石海峡大橋が完成し、大阪の中心部からでも2時間余りでアクセスできるようになりました。利用者名簿を見ると、この10年でも数えるほどの人しか利用していないようですが、是非多くの人達に歩いてもらいたいコースです。

(2000年6月3日 踏破)

三二情報

臼杵石仏 (大分 No.12)

荒れるに任せられた状態です。マップは臼杵市教育委員会にあります。ポストは壊れているものが大半。

は頭が既に無く、はバラバラになっています。ルート上の問題点が全くないコースなだけに、惜しまれます。ポストさえしっかりしていれば直ぐにでも生き返るのですが、現状ではお勧めできません。

砺波 (富山 No.5)

残念ながら1999年度末で廃止されました。廃止申請直後の4月16日に回ってみましたが、既に欠損していたを除いて8つのポストは残されていました。施設の老朽化が廃止の理由だそうです。頼成の森の快適な遊歩道を巡るコースだっただけに、手直しして欲しかったのですが、今年度中に全ポスト撤去の予定になっています。

寒曳山ゆとりの森 (広島 No.26)

現在休止扱いですが、全ポスト健在です。マップは広島県OL協会です。このところ整備されておりませんので、は倒れ、は頭が落ちて色褪せています。後半は浜田自動車道の影響をかなり受けます。